

「どうして間違いを繰り返してしまうのか」を知る機会に

札幌国際大学 准教授 安井政樹



何回言ったらわかるの？ 前も言ったよね？

こういう気持ちになったことはありませんか？ 今回のテーマは、何度も同じ間違いを繰り返してしまうのかについて立ち止まって考えることです。

■忘れてはいけない大前提・・・「次は絶対に」はない。

「今度はちゃんとしてね！」「絶対だよ！」と言いたくなる気持ちになるときは誰にでもあると思います。今回の放送をみて、「間違いを繰り返さないように」という思いを強くされるかもしれません。しかし、大前提として、「人の行動に絶対」はありません。いくら気を付けていても、できないことはあるのです。

「まちがいをくり返さない」というと、なおせない子が悪いみたいにもうけとられてしまいますが、今回はそういうことを伝えたいのではありません。特性によってどうしてもなおせないこともあります。「間違っているよ。なおして！」と求めること自体が難しいこともあることを忘れてはいけません。

■どうして繰り返してしまうのかを知る

「わかったの？」「うん。わかった。」というような会話。そもそも話を聞いていないでただ返事をしていたり、とりあえず、「わかった。」と言っておけばいいと思っていたりということがよくあります。これは「ごめんなさい。」もそうです。次から何に気を付ければよいかもわかっていないけど、とりあえず謝ってその場をしのご。するとまた同じことを繰り返してしまう。失敗が失敗のままで、次につながる経験になっていないのです。

そのような子には番組中で出てきた**手を止めて相手を見て話を聞く**ということや**相手の話を最後まで聞く**ということが有効かもしれません。さらに大切なのは**「わからない」を相手に伝える**ということです。次はどうしたらいいのか、暗黙の了解のように大人は思っている、伝わっていないことはよくあるのです。そういう意味で「まちがいをくり返さない」ということを、周りにいる私たち自身も気を付けたいところです。

「次は何に気を付けたらいいのかな。」と一緒に考えて確認してほしいのです。まちがいや失敗を経験としてどう生かすのか。**失敗を成功の基にするには、そういう関わりが大切な**のかもしれないね。